

## 山形県の現状と将来像(案)

## ＜新広域道路交通ビジョンの内容＞

## 地域の将来像

- ・既存の地域における総合的なビジョンをベース
- ・地域の社会経済の現状や見通しを踏まえた目指すべき姿

## 広域的な交通の課題と取組

- ・平常時・災害時及び物流・人流の観点における課題整理
- ・ICTや自動運転等の技術革新を踏まえた取り組み

## 広域的な道路の基本方針

- ・広域道路ネットワーク、交通・防災拠点、ICT交通マネジメントに対する基本方針

## ＜既存の総合的なビジョンの体系＞

## 全県的なビジョン

第3次山形県総合発展計画  
長期構想  
2010.3/H22.3

- 中長期的な視点に立って、これからの県づくりに向けた施策の方向性を明らかにすることを目的に山形県が策定

## ■計画の内容

- ・県づくりの基本方向と基本目標
- ・基本目標の実現に向けた政策展開の方向性

## ■計画期間

- ・概ね10年間(2009年度～2020年度)

短期アクションプラン(後期)  
2017.3/H29.3

## ■計画の内容

- ・計画目標を実現するために重点的に取り組む事業の方向性やその推進工程

## ■計画期間

- ・4ヶ年(2017年度～2020年度)

## 社会資本整備に関するビジョン

やまがた「県土未来図」  
2006.3/H18.3

- やまがた総合発展計画※1を建設行政の面から具体化し推進する取り組みの方向性や実現の方策を示すことを目的に山形県土木部※2が策定

## ■計画の内容

- ・目指すべき次世代の県土のすがた 及び これを実現するための基本目標

## ■計画期間

- ・2030年度まで

やまがた「県土未来図」推進指針  
2011.3/H23.3  
(2012.3/H24.3改訂)

## ■計画の内容

- ・第3次山形県総合発展計画の計画期間中における社会資本整備の推進のあり方や県土整備部が取り組む施策の基本的な考え方

## ■計画期間

- ・概ね10年間(2011年度～2020年度)

## 道路分野に関するプロジェクト

(仮称)山形県道路中期計画2028  
(策定中)

- 上位計画と整合を図りながら、県土整備行政の道路分野における新たな整備計画として山形県県土整備部にて策定中

## ■計画の内容(予定)

- ・山形県のみちづくりの方向性、重点的に整備を行う施策・目標、実現のための指標
- ・県内4地域のみちづくりビジョン

## ■計画期間(予定)

- ・概ね10年間(2019年度～2028年度)

上位  
計画上位  
計画

※1:やまがた総合発展計画は前回の計画であり、現在の第3次山形県総合発展計画とは推進指針を通して整合を図っている

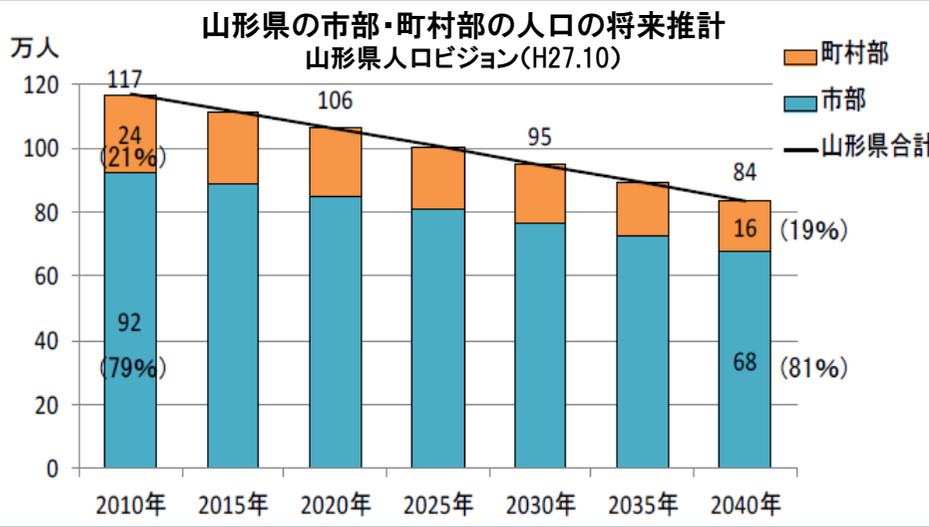
※2:現在は県土整備部

上記の総合的なビジョンにおいて示された地域の課題と将来像をベースに  
新広域道路交通ビジョンへ反映

# 山形県の現状と将来像(案)

## 山形県の現状(課題) ~第3次山形県総合発展計画より~

- ①高齡化に伴う人口減少
  - ・人口減少幅の拡大
  - ・引き続き出生率の低下傾向
  - ・労働力人口の減少  
(生産・消費や地域社会へ大きな影響)
- ②ICTの進歩と社会経済のグローバル化の拡大
  - ・本県経済と世界経済の連動性の強まり  
(世界経済危機に伴う本県経済の落ち込み)
  - ・産業における国際競争の激化
  - ・世界的な食料需給ひっ迫への懸念
- ③環境や資源面での制約の高まり
  - ・地球温暖化への懸念
  - ・経済活動に伴う環境負荷の増大
  - ・資源の価格上昇・枯渇への懸念
  - ・環境ビジネスの成長への期待
- ④暮らしの様々な不安の顕在化
  - ・深刻な医師不足
  - ・介護や老後の暮らしに対する不安
  - ・格差の拡大・固定への懸念
  - ・災害や犯罪への懸念の増大



## 山形県の将来像 ~やまがた「県土未来図」より~

2030年の県土のすがたとして  
『活力があり・美しく・楽しい山形』を目指す。

- I 安全・安心な県土で産業活動や広域交流を支える高速交通網などの社会基盤が整備された活力のある社会
  - 水害、土砂災害、地震などの自然災害から県民の生命、財産を守るための施策を幅広く推進
  - 「国内外との県境を越えた交流・連携」や「生活交流圏相互の交流・連携」、さらに「生活交流圏内の交流・連携」等多様で階層的な交流を支える基盤として、高速交通網をはじめとした交通基盤の整備を推進
- II 最上川などに代表される山形固有の自然環境、地域文化、県土景観が保全・継承・創出されている美しい社会
- III 人々との協働による取り組みが活発で次世代につなぐ持続可能で楽しい社会の高い暮らしや活力のある産業を支え続ける「地域社会」の実現

